

1) 各領域についての今後5年間(中期)の目標(例)

i. 脱地球温暖化社会構築領域

- ・総合的な温室効果ガスモニタリング体制の確立(中期的目標)
- ・アジア地域の影響モニタリングネットワークの確立(中期的目標)
- ・気候モデルの高精度化・温室効果ガス排出経路モデルの開発
- ・CDM・技術移植を通じたアジアの低CO2排出化(長期的目標)
- ・脱温暖化社会実現のための技術シナリオ策定・ロードマップ策定
- ・省エネ、カスケード利用技術・システムの開発・導入(長期的目標)
- ・再生可能エネルギー導入技術の開発・再生エネルギーの導入(長期的目標)
- ・水素・燃料電池など新しい社会システムの技術開発・導入(長期的目標)

この領域については、他の領域とタイムスケールが異なる。(「短期」=5年程度、「中期」=数十年程度、「長期」=百年程度)



ii. 循環型社会構築領域

- ・国内、二国間、地域内での物質フロー解析
- ・個別物品や廃棄物毎のミクロフロー解析
- ・循環型社会への変革を進めるための政策・手法の開発
- ・LCAを踏まえた循環度の評価手法の確立